

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況（11月分）について

2025年11月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

（単位：千円）

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	12,555,715	10,194,363	123.2%
国内旅行	17,404,809	16,796,321	103.6%
訪日旅行	1,444,265	1,020,379	141.5%
合計	31,404,789	28,011,063	112.1%

【概況】

11月の営業概況は、総取扱額314億478万9千円、前年同月比112.1%となりました。

海外旅行は、2025年11月の出国日本人数の回復速度は依然として緩やかではあるものの、2019年同月比で81.0%と8割を超える水準となりました。

このような状況の中、当社ではハイグレードホテル利用商品を軸に、インド、バリ島、ベトナム、欧州など旅行先を多角化したTV通販を実施したほか、ハワイやアジアを中心にキャンペーン商品を投下し、需要喚起を継続しました。

その結果、インドやインドネシア、ハワイが伸長し、欧州や中南米など長距離方面のツアーも堅調に推移しました。また、客船「MSC ベリッシマ」による沖縄（那覇）を拠点に石垣島、宮古島、台湾（基隆）をめぐるクルーズが好評を博したほか、オーストラリアも好調に推移するなど、多くのエリアで旅行需要の回復がみられました。

海外旅行の11月の取扱高は125億5,571万5千円となり、同月比で123.2%と前年を大幅に上回りました。

国内旅行は、観光庁が発表した「宿泊旅行統計調査(第1次速報)」によると、2025年11月の日本人延べ宿泊者数が前年同月比で0.7%減少し、継続する物価高による影響がうかがわれます。

このような状況の中、当社ではグレードの高い宿泊施設と紅葉や温泉を組み合わせた周遊型商品に加え、手軽に参加できる日帰りツアーの募集告知を強化しました。加えて、観劇や大相撲など話題性の高いイベントを組み込んだテーマ型商品の開発などにより需要喚起を図りました。

その結果、東北では紅葉と温泉を組み合わせた付加価値型商品が好調に推移したほか、東海では、秋の行楽シーズンに合わせた日帰りバスツアーが堅調で、前年を大きく上回りました。また、首都圏での観劇ツアーや大相撲九州場所の観戦ツアーも好調で、各地で需要が拡大しました。

11月の国内旅行の取扱高は、174億480万9千円、前年同月比103.6%となりました。

株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	2,482,038	2,520,398	98.5%
国内旅行	254,711	201,939	126.1%
訪日旅行	10,760	5,409	198.9%
合計	2,747,511	2,727,747	100.7%

【概況】

11月の営業概況は、総取扱額27億4,751万1千円、前年同月比100.7%となりました。海外旅行は、グローバルな経済活動が活発な状況にあるものの、当月は企業の出張需要が微減したことから、取扱高は前年同月比98.5%にとどまりました。

一方、国内旅行は、引き続き業務出張が堅調に推移し、取扱高は前年同月比126.1%と大幅に伸長しました。

2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	14,771,186	12,424,707	118.9%
国内旅行	17,612,760	16,962,853	103.8%
訪日旅行	1,455,025	1,025,788	141.8%
合計	33,838,971	30,413,348	111.3%

※2社間の取引を相殺したものです。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724